

湖南省 保育問題

チーム大学生：千、小森、野口

目次

1. 湖南省の現状と将来ビジョン
2. 定員割れによって起こる問題
3. 政策課題と課題の明確化
4. 企画案
5. まとめ

湖南省の現状

- ・待機児童は16人、潜在的待機児童が21人(R4 9.1時点)
- ・一部の保育施設では定員割れが起きている
- ・出生数が減少傾向にある

湖南省内認可保育施設 年齢別利用定員一覽

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
【公立】								
保育所								
石部保育園	保育認定	6		42			82	130
	R4.9.1現在	5	16	15	14	27	25	102
幼保連携型認定こども園								
岩根こども園	教育認定	—	—	—			24	24
	R4.9.1現在	—	—	—	3	0	0	3
	保育認定	9		39			88	136
	R4.9.1現在	6	13	15	28	15	20	97

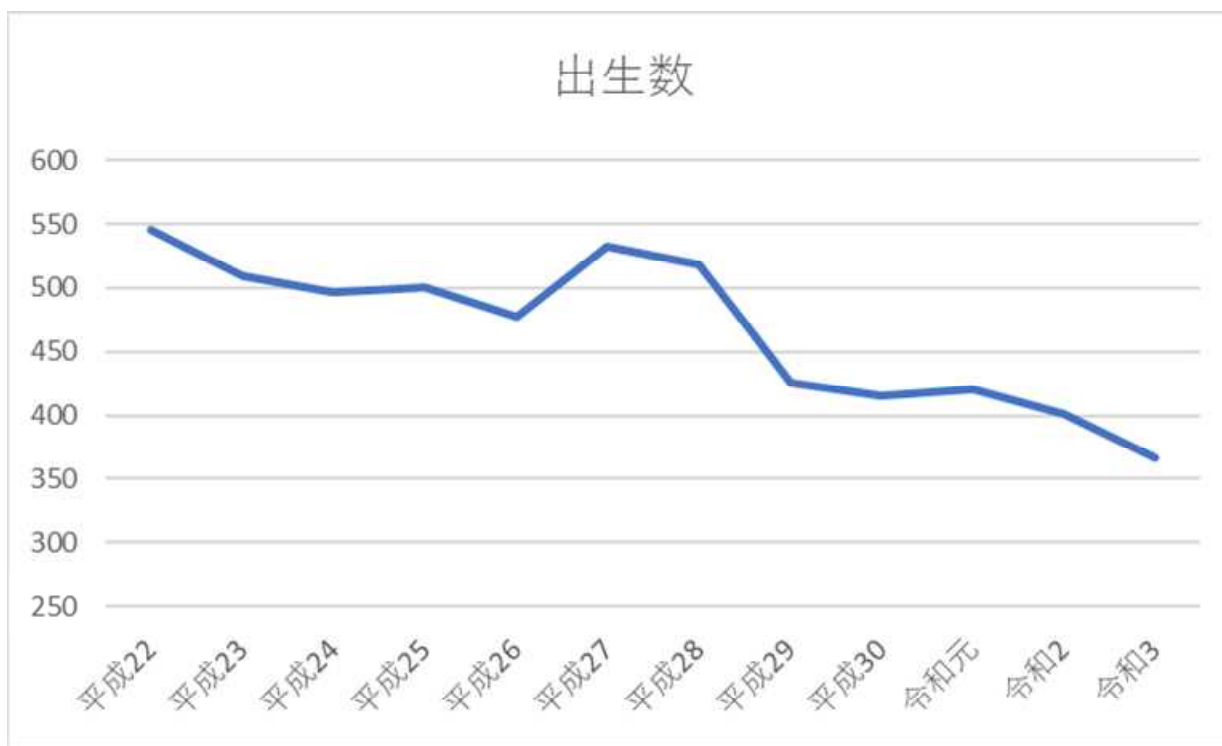
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
【私立】								
幼稚園								
三雲幼稚園	教育認定	—	—	—	50	50	50	150
	R4.9.1現在	—	—	—	40	39	53	132
HOPPA石部南	教育認定	—	—	—	30	35	35	100
	R4.9.1現在	—	—	—	30	19	30	79

湖南省内認可保育施設 年齢別利用定員一覽

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
幼保連携型認定こども園								
水戸幼稚園	教育認定	-	-	-	35	35	35	105
	R4.9.1現在	-	-	-	32	22	28	82
	保育認定	3	12	15	20	20	20	90
	R4.9.1現在	2	11	16	18	32	25	104

幼稚園型認定こども園								
ひかり幼稚園	教育認定	-	-	-	50	50	50	150
	R4.9.1現在	-	-	-	22	14	44	80
	保育認定	-	-	-	7	7	6	20
	R4.9.1現在	-	-	-	11	11	12	34

出生数推移(湖南省)



将来ビジョン

- ・出生数は減少し続ける
- ・定員割れが起こる保育施設が増える
- ・定員割れが起こることにより、保育士の余剰人材や余剰施設が増える

定員割れによって起こる問題

- ・ 市からの給付（国、都道府県も負担）額が減少する
- ・ 保育料が減少する
- ・ 施設の維持管理費、保育士の人件費確保が困難に

政策課題

- ① 湖南省で子育てをする全ての人が自らが望む質の高い保育サービスを利用することができる
- ② 保育施設側にも定員割れなどの運営上の問題が発生しない状況を実現する

課題の明確化

<課題>

- ・子供の数の変動に対応できる仕組みが整えられていない
- ・保育ニーズを正確に把握できていない
- ・保育士が足りていない

方針

- ①利用者(保護者)の保育ニーズについての的確に把握する仕組みを整える
- ②子どもの数の変動に対応するための仕組みや各保育施設内の設備を整える
- ③保育所以外の保育サービスを充実させ、幅広いニーズに対応できるようにする

アイデアの創出

方針1

- ・湖南市民に定期的なアンケート
- ・スマホアプリの導入



方針2

- ・保育士を一時的に別の保育施設に派遣する制度づくり
- ・延長保育における保育施設同士での連携



方針3

- ・広報を活用した育児情報の発信

企画案

湖南省保育の輪プロジェクト

湖南省

情報の提供
子育て支援の協力

情報の提供
保育所同士の
コミュニティの提供

連携

保育制度の充実
子どもの手助け
保育施設の紹介

保育施設

保育サービスの向上

保護者

子どもの情報を伝える

企画内容①

湖南省を中心とした保育施設同士の連携（横のつながり）

→保育施設同士の**コミュニティ**を作る

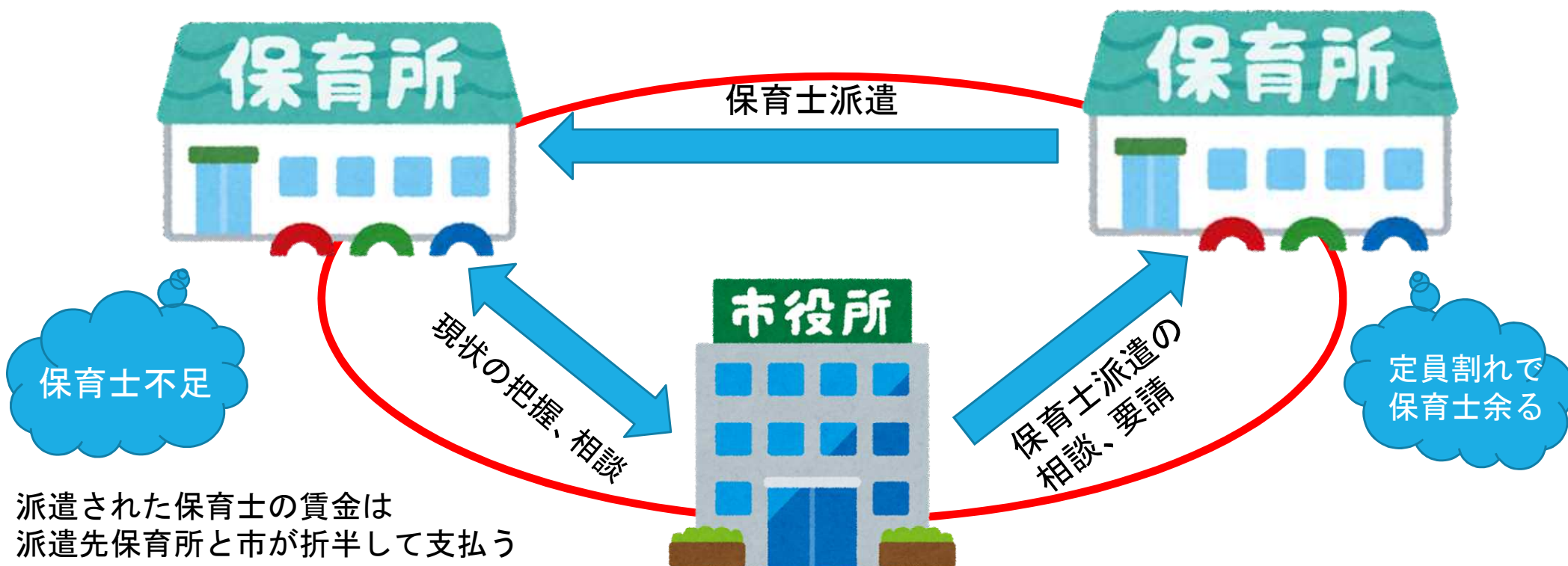
<コミュニティ>

- アプリやSlack、LINEを活用
- 湖南省と市内の保育施設が加盟

<活用例>

- 保育施設間での派遣システムの導入
- 預かり保育や夜間保育の分担
（ローテーション制）

企画内容①



派遣された保育士の賃金は
派遣先保育所と市が折半して支払う

保育士を派遣することで

派遣先保育施設のメリット

- ・保育士の負担軽減、保育の質の向上
 - ・一時預かりなどの新規サービスの実施可能性
- (現在湖南省で一時預かりを実施しているのは5施設のみ)

派遣元保育施設のメリット


- ・人件費を抑えることができる
- ・保育士の経験値UP

保育士派遣システムの問題点と対策

保育士派遣システムの問題点

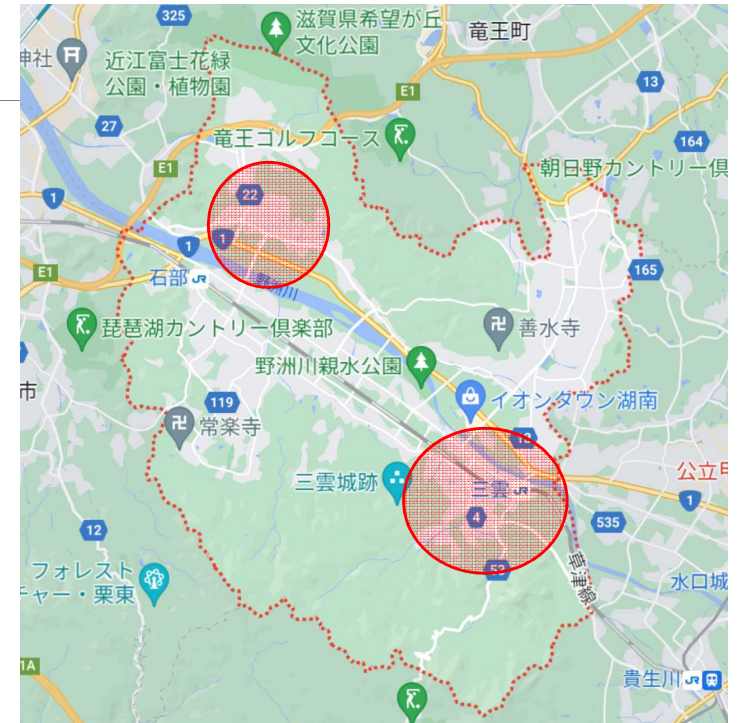
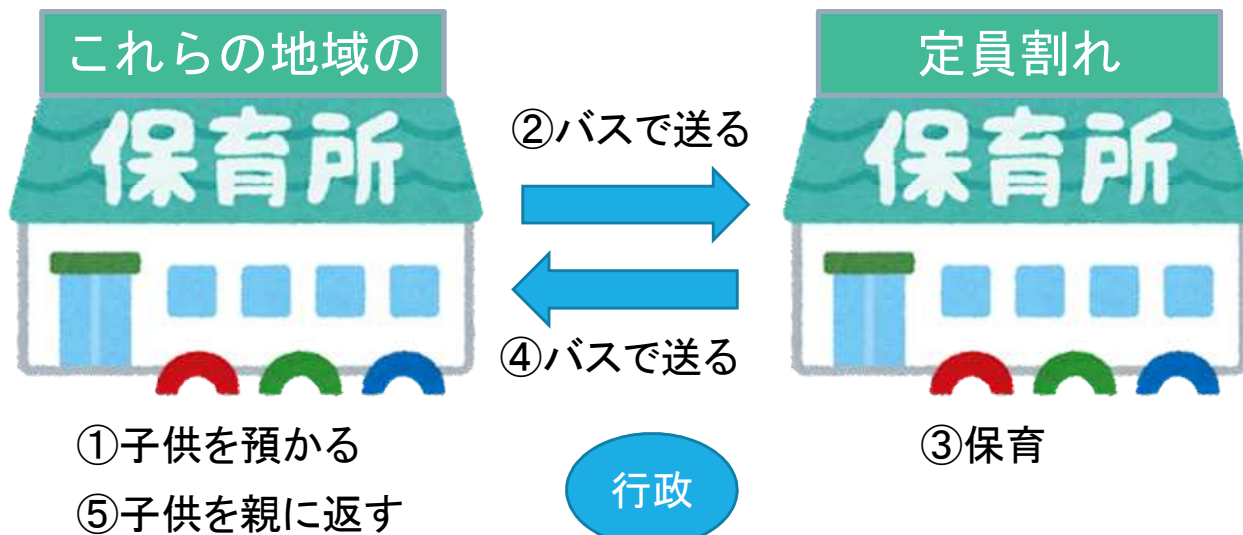
- ・派遣された保育士の精神的な不安や働きにくさを感じる可能性
- ・公立の保育施設と私立の保育施設の横断的な派遣（賃金格差等）

対策方法

- ・派遣を行う前から施設間のコミュニケーションを取っておく
 - ・派遣元保育施設と派遣先の保育施設両方での定期的な面談を行う
 - ・賃金格差が生じないように行政が差分を負担する
- 

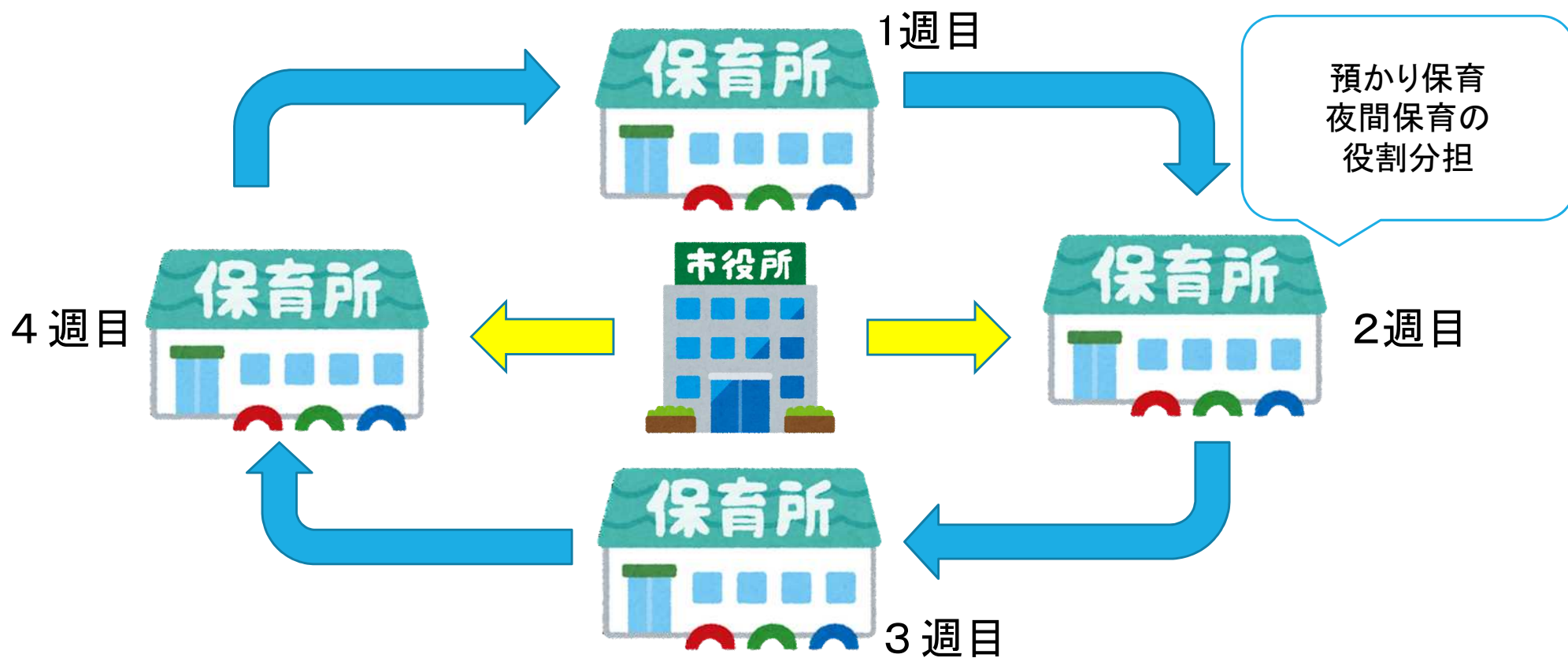
企画内容①

三雲、菩提寺地域では、待機児童が多く存在



それぞれの保育施設に対して協力を要請。
協力してくれた保育施設に対しては補助金を支給。
送迎にかかる費用は負担。

企画内容①



企画内容①

<コミュニティを作ることのメリット>

- ①保育における市全体での一体感が生まれる
- ②経験や情報を共有できる
 - 迅速な課題の解決
- ③保育士の人員不足や地域間格差の解消
- ④保育士の過重労働の解消

企画内容②

保護者のニーズを的確にとらえる仕組み

→アプリを活用

＜アプリの活用例＞

- アンケートの実施
- アプリ内での窓口、目安箱の開設
- 子育て支援の周知
- 緊急相談口としての役割

＜保護者がアプリでできること＞

- 子育て支援の情報の取得
- 24時間どこからでも相談できる
- 保育施設、市への要望
- 市内の保育施設の比較
- 保育施設との子どもの情報のやり取り

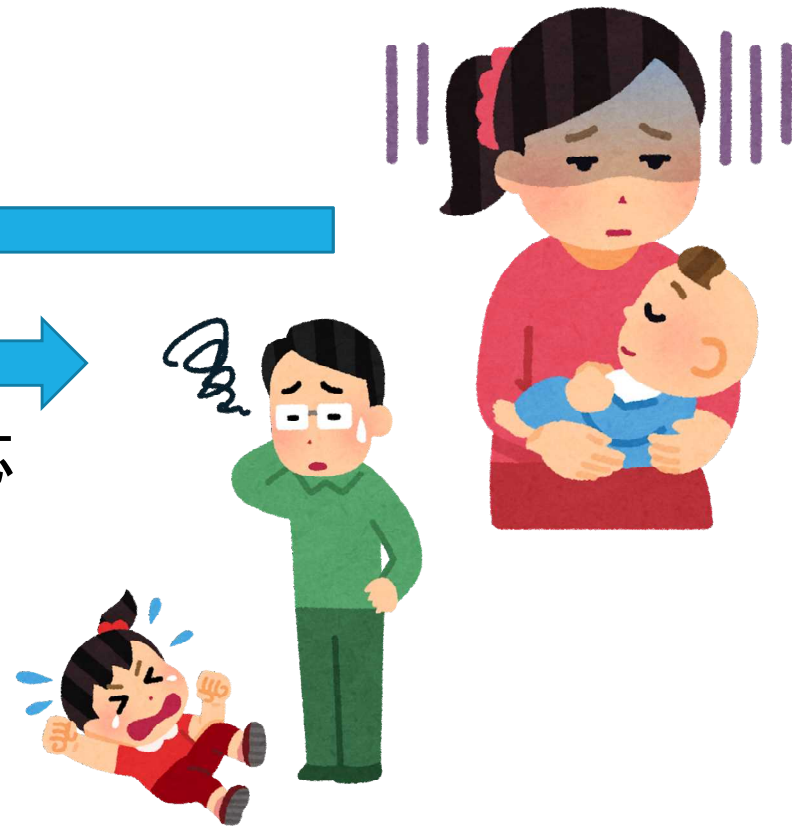
企画内容②



緊急の相談



迅速で的確な対応



企画内容②

<アプリを導入することのメリット>

- ① 保護者のニーズを的確に捉えることができる
- ② 緊急時や相談がある場合に、相談場所を迷うことがない
- ③ 相談や要望をしやすい
- ④ 時間や場所にとらわれない
- ⑤ 情報提供が一律で、情報の格差が起こりにくい

企画内容③

〈余剰施設の活用について〉

- ・定員割れにより、空き教室が生まれる
- ・将来的に施設統合が行われた場合、余剰施設が生まれる
- ・余剰施設は、保育施設以外の活用方法で再利用する

〈活用例〉

- ①一時預かり
- ②子ども食堂
- ③老人ホーム

まとめ

- ①行政と保育施設、市民が一体となって、湖南省の保育サービスの質を高めていくことを目指す。
- ②保育施設間での連携を強め、定員割れ問題への対策とする。
- ③保護者のニーズ把握にも力を入れ、保育サービスの充実に狙う。
- ④将来的な保育施設の整備、運営の方法を検討するためにも役立てる。